

# 令和7年度市長と伊東市保育園父母の会連合会との懇談会 事前意見及び回答

- ① 子育て世帯への経済的支援について
- ② 保育園にかかる費用負担の軽減について
- ③ ベビーシッターの確保等について
- ④ 子育てに優しい活動に取り組む企業を増やす施策について
- ⑤ 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備について
- ⑥ 保育従事者の季節性インフルエンザ予防接種費用の公費負担について
- ⑦ 医療的ケア児のためのサービスの拡充について
- ⑧ 病児・病後保育事業の充実について
- ⑨ きょうだいがいる場合の同一保育園への入園について
- ⑩ 延長保育に対応できる園の充実について
- ⑪ 保育園におけるICTの活用について
- ⑫ 保育園の入園準備物について
- ⑬ 保育士の確保について
- ⑭ 宇佐美保育園の今後に関する情報発信について
- ⑮ 保育園や幼稚園の統廃合に関する情報発信について
- ⑯ 子育て支援センターの就園児の利用について
- ⑰ 保護者同士、子ども同士が交流できるイベントの開催等について
- ⑱ 雨天や猛暑でも遊べる子どもの遊び場の整備等について
- ⑲ 保育園の施設や設備の整備等について

令和7年度市長と伊東市保育園父母の会連合会との懇談会（事前意見及び回答）

意見	①
<b>子育て世帯への経済的支援について</b>	
<p>伊東市の少子化は深刻な問題であり、子育てしやすい環境づくりが急務ではないかと感じています。子育てをするに当たり費用もたくさんかかるので、児童手当を増額していただいたり、子育て世帯に何か割引券などの配布などをしていただけたらすると幸いです。</p>	
回 答	
<p>児童手当につきましては、児童手当法により全国一律の対象年齢及び金額で支給がされており、昨年度、対象年齢の拡大や第3子以降の手当増額などの制度拡充が行われました。</p> <p>子育て世帯への割引券の配布につきましては、静岡県と県内市町が協働して「しずおか子育て優待カード」を配布しており、18歳未満の子どもを同伴した保護者又は妊娠中の方が、優待カードの提示により、協賛店舗・施設ごとに決められた「応援サービス」を受けることができます。</p> <p>また、伊東市独自の子育て世帯への経済的支援として、子どもが誕生した際に誕生祝金5万円、小中学校に入学した際に入学祝金5万円を贈呈しております。</p> <p>更なる経済的な支援につきましては、社会・経済情勢や国における支援の動向等に注視し、今後検討してまいります。</p>	

意見	②
<p><b>保育園にかかる費用負担の軽減について</b></p>	
<p>3歳児クラスからは保育料が無料になっていますが、乳児クラスは保育料がかかっているため、乳児クラスも費用負担を軽減してほしいと思います。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>国の幼児教育・保育の無償化制度におきましては、幼児教育の必要性を重要視する趣旨のもと、3歳から5歳児の無償化が実施されているところであり、0歳から2歳までの子どもにつきましては、住民税非課税世帯は利用料を無償としており、また、子どもが2人以上の世帯の場合は、保育所等を利用する最年長の子どもを第1子とカウントして、0歳から2歳までの第2子は半額、第3子以降は無償としております。</p> <p>また、5歳児につきましては、保育料に加え、主食費、副食費といった給食費も市独自に無償化し、保護者の負担軽減を図っておりますが、0歳から2歳までの保育料や3歳から4歳児の給食費の無償化、減額については、国の制度の動向を注視してまいります。</p> <p>なお、完全無償化に必要な経費を試算したところ、0歳から2歳児までの保育料及び3歳から4歳児の給食費を無償とする場合、年間1億円を超える高額な経費が必要となりますが、県内東部の一部の自治体でも、すでに令和5年4月から取り組まれていることを承知しており、本市の子育て世帯の皆様にも有効な支援策であると認識しておりますので、積極的に検討してまいりたいと考えております。</p>	

令和7年度市長と伊東市保育園父母の会連合会との懇談会（事前意見及び回答）

意見	③
<b>ベビーシッターの確保等について</b>	
<p>ベビーシッターを使用したくても、伊東市はベビーシッターの方の人数が少ないのが現状か と思います。使用したいときに使用できるよう、ベビーシッターの確保をお願いいたします。 それに伴い、ベビーシッター利用時の補助金もあると助かります。</p>	
回 答	
<p>現在、育児サポートとして、ファミリー・サポート・センター事業を実施し、子 育て家庭への支援強化や児童福祉の向上を図っております。</p> <p>ベビーシッターの確保やベビーシッター利用時の補助金につきましても、先行 して取り組む自治体における成果等を参考に、今後調査研究してまいります。</p>	

意見	④
<p><b>子育てに優しい活動に取り組む企業を増やす施策について</b></p>	
<p>今年度から子どもの看護休暇が小学校3年生までになりありがたいのですが、子どもの急な病気で看護休暇を取ることに理解のない職場がまだあるのが現状です。</p> <p>日曜・祝日に保育を実施してくださっている点は、他の市町村と比べてとても助かってはいますが、急な休みに対応してくれる、短時間勤務への変更ができる、看護休暇や産休・育休が取りやすい、などといった企業が増えてくると、安心してこのまちで子育てをしようと思えるのではないかと思います。</p> <p>また、伊東市は働く場が少ないとも言われていますので、仕事と育児の両立を推進している企業の誘致にも力を入れてほしいです。</p>	
<p style="text-align: center;">回 答</p>	
<p>令和4年7月に、公益社団法人日本青年会議所が展開するベビーファースト運動への参画を宣言いたしました。この運動は、企業や行政がみんなで赤ちゃんを育てていく優しい社会を目指す運動であります。</p> <p>お子様の急な病気に伴う看護休暇の取得や短時間勤務等、多様な働き方への理解が十分に広がっていないことは、子育て世帯にとって大きな不安につながるものと認識しております。</p> <p>今後につきましては、関係機関と連携し、「育児・介護休暇法」に基づき、育児や介護を行う人が仕事と家庭を両立できるよう看護休暇制度の活用、育休復帰支援、短時間勤務等、ワークライフバランスの実践例や制度を市内企業へ周知し、理解促進を図ってまいります。</p> <p>企業誘致に関しましても、仕事と育児の両立を推進している企業で地方進出に興味を示す企業と接触し、伊東への進出につながるよう、各種機会にPRしてまいります。</p>	

意見	⑤
<b>安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備について</b>	
<p>小児科医の確保に努めていただきたいと思います。夜間や休日にも対応してくれる小児科医が増えると助かります。</p>	
回 答	
<p>現在、伊東市民病院を含め、小児科診療が可能な診療所が市内に10診療所あり、平日昼間の通常の診察時間に診察を行っております。</p> <p>また、夜間につきましては、伊東市立夜間救急医療センターにおいては、午後7時～11時まで、伊東市民病院においては24時間、診療対応を行っております。</p> <p>なお、休日診療に関しましては、伊東市医師会の協力のもと、小児科を含む内科・外科それぞれ1診療所を開院いただき、対応しております。</p> <p>今後につきましても、診療状況を注視しながら、伊東市医師会と協力し適切な対応に努めてまいります。</p>	

意見	⑥
<p><b>保育従事者の季節性インフルエンザ予防接種費用の公費負担について</b></p>	
<p>今年度から小児や妊婦が季節性インフルエンザの予防接種を自己負担なしで接種できるようになり、また市への申請が不要ということでありがたかったです。</p> <p>保育従事者についても、同様に自己負担なしで接種できるようにしてほしいという声があります。ニーズ調査を行っていただき、ご検討をお願いします。公費負担が可能な場合は、制度設計や実現までの道筋を、不可能な場合はその判断理由についてもお伺いしたいです。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>保育従事者の季節性インフルエンザの感染予防につきましては、園児の安全安心のために重要なことだと考えております。</p> <p>保育従事者への予防接種の公費負担につきましては、実際に接種を行う医療機関での対応など、実施時の課題について医師会も交え協議を行い、必要となる財政負担も勘案した上で、県内市町の状況なども踏まえ、実施可能性の検討をしてみたいと考えております。</p>	

意 見	⑦
<p><b>医療的ケア児のためのサービスの拡充について</b></p>	
<p>医療的ケアの必要な児童が保育園に通えるように、看護師の確保や施設整備などに取り組んでいただきたいです。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）に基づき、医療的ケア児が適切な支援を受けられるよう、関係機関と連携して体制整備に取り組むことが自治体の責務であると認識しております。</p> <p>医療的ケア児の保育園での受け入れについては、令和6年度途中から公立園において1人受け入れを行っているところです。</p> <p>また、支援の拡充にあたっては、看護師や保育士等の安定的な確保といった人員面での体制整備に加え、個々の状況や必要な医療的ケアに応じた施設整備が必要になることや、緊急時対応等における各関係機関との連携が非常に重要な課題であると理解していますので、より良い受入れ体制の構築に向けて今後も取り組んでまいります。</p>	

意見	⑧
<p><b>病児・病後保育事業の充実について</b></p>	
<p>現在、病児保育に対応している施設は川奈りんかい保育室のみで、一日に預かれる人数も限られています。立地的にりんかい保育室を利用するのが難しい家庭もあるかと思われます。病児保育施設の増設や職員の増員を希望します。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>現在、病児保育事業を実施している川奈臨海学園りんかい保育室の利用定員は4人ですが、病気の種類によっては隔離が必要であり、また0歳から小学6年生までが利用対象であるため、安全性を考慮した部屋割りや職員配置が必要となることから、場合によっては定員まで受入れが困難となることが課題であり、安定した受入れを行うための職員確保については、施設と協力してまいります。</p> <p>本事業の実施にあたっては、看護師等の専門職員の配置や、医療機関との連携、調理室を有する等の要件を満たすことに加え、二次感染を防ぐための徹底した衛生管理と感染症対策が必要となります。そのため、実施できる場所が限られており、拡充が非常に困難な事業であります。しかしながら、お住まいの地域によっては、川奈臨海学園の利用が困難なご家庭もあることは承知しておりますので、増設については今後も検討してまいります。</p>	

意見	⑨
<p><b>きょうだいがいる場合の同一保育園への入園について</b></p>	
<p>持ち物の違いや行事の日程調整、送迎など、きょうだいを別々に園に通わせることは、保護者にとってとても負担になります。上の子が通っている園へ優先的に下の子も入園できるよう取り計らっていただきたいです。0歳児から預かってくれる園が増えることで解決につながる例もあるので、考えていただきたいです。</p>	
<p style="text-align: center;">回 答</p>	
<p>保育園の入園にあたっては、「伊東市保育所等入所調整基準」に基づき、入所調整を行っておりますが、調整点において「兄弟姉妹が保育園等に在園している場合」や、「兄弟で同時に申し込む場合」の加点を設けて配慮しております。</p> <p>また、窓口で申し込みを受け付ける際、利用申込書において兄弟姉妹が同時に申し込みする場合の確認項目を設けており「希望順位が低い園でも兄弟が同じ園に入園できることを優先する」や「別々の園でも希望順位が高い園に入園することを優先する」等、保護者の優先する内容を確認することにより、可能な限り意向に沿えるよう努めております。</p>	

意見	⑩
<b>延長保育に対応できる園の充実について</b>	
対応できる園が増えれば、働き先や仕事内容の選択肢も増えると思います。	
回 答	
<p>延長保育事業につきましては、現在民営の9園において実施しており、対応できる園の充実は、保護者の皆さまの就労の幅を広げ、仕事と子育ての両立を支えるうえで重要な取り組みであると認識しております。</p> <p>市といたしましても、保護者のニーズや地域の実情、園の運営状況や人材確保の課題等を踏まえつつ、延長保育の拡充について検討を進めてまいります。</p>	

意 見	⑪
<p><b>保育園におけるICTの活用について</b></p>	
<p>乳幼児のいる家庭で紙の配布物を管理したり、複数のアプリを横断しながら子育てに関する情報を管理したりするのは大変なことです。連絡帳機能での健康観察や園だよりの配信でかなり助けられている一方で、使用できる機能が限られていたり、各園で統一されていなかったり、改良の余地があるように感じます。</p> <p>保育士の皆さんのICT活用を後押しして、マチコミやコードモンを有効活用してください。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>公立園では、保護者はスマホアプリからこどもの体調や欠席連絡、登降園時には園に設置したタブレット端末にQRコードをかざして活用していただいております。園からは、連絡事項の通知や配布物を掲載する等して活用しております。</p> <p>今後は、保護者から要望のある写真販売や園での子どもの様子を発信し、ICT機能を十分に活用できるよう努めてまいります。</p>	

意見	⑫
<p><b>保育園の入園準備物について</b></p>	
<p>入園準備ですから、当然子どもが毎日家にいる状態で準備をしています。準備時間を早めに確保したいので、準備物を市のホームページに掲載してください。</p> <p>また、袋類は案外頑丈で、保育園通園のみで使わなくなってしまうのはもったいないので、小学校のサイズとも統一できるかどうか検討してください。小学校の準備物もかなりの量ですし、少しでも準備にかける手間が省けるようにお願いします。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>準備物につきましては、保護者の皆さまが早めにご確認いただけるよう、市のホームページへの掲載について検討を進めてまいります。</p> <p>また、袋類につきましては、小学校では、ロッカーの大きさや保管の仕方などに応じて推奨する規格を提示しておりますが、それ以外の袋類を使用することも認めております。そのため、保育園等で使用していたものをそのまま使用していただくことも可能です。</p>	

意見	⑬
<p><b>保育士の確保について</b></p>	
<p>地域の子育て世代が働き、活躍し続けられる環境づくりのためにも、保育の質と体制の充実を強く求めます。保育士の待遇改善や職場環境の整備を通じて、長期的な人材確保につながる施策を講じ、安心して子どもを保育園に預けられるようにしてください。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>保育の質の維持、体制の充実を図るためには、保育士の確保は喫緊の課題と捉えております。しかしながら、国においても保育人材の確保に対して、様々な施策が実施されてきましたが、依然として全国的に保育士が不足しており、本市においても同様の状況となっております。</p> <p>そのため、長期的な人材確保の一助として、将来保育職場を希望する学生からのインターンの受け入れを適宜実施しており、実践的な能力開発の場として、学生のキャリア形成支援をサポートしております。</p> <p>今後につきましては、若手保育士の離職防止のため、保育スキル習得やメンタルヘルスケアに資する研修等を展開していくとともに、採用活動を通じて、大学や短大などの保育士養成校に働きかけを行うなど、積極的に取り組んでまいります。</p> <p>また、働きやすい職場環境の整備などにつきましても、保育現場の実情を踏まえた支援策の検討・充実に努めてまいります。</p>	

意見	⑭
<b>宇佐美保育園の今後に関する情報発信について</b>	
<p>耐震基準を満たさない宇佐美保育園の園舎について、保育園機能の移転や認定こども園化に関する要望書を、昨年度も当連合会や各団体から提出いたしました。また、当連合会役員が幼児施設連絡調整協議会にオブザーバーとして参加させていただき、意見を述べさせていただきました。先の中間答申では、今年度中に方針を練ることになっていましたが、どのような計画を考えているのか教えてください。進捗について半年以上も発信がなく、不安を抱える保護者は多いので、定期的に発信してほしいです。</p> <p>また、通園中の保護者、保育者の意見を汲み取りながら事業を進めていただきたいと思います。</p>	
回 答	
<p>伊東市幼児施設連絡調整協議会による協議につきましては、令和6年度に計4回開催し、その後中間答申を受け、市ホームページにおいて宇佐美臨海テニスコート跡地への認定こども園建設計画を中止することとし、耐震性の劣る宇佐美保育園園舎から、園児及び職員の安全確保を図るため、機能移転を最優先に検討を進めていることを発信しております。</p> <p>令和7年度中に協議会を開催して今後の方向性を定めていき、進捗状況については市ホームページへの掲載や説明会を開催して逐一発信してまいります。</p>	

意見	⑮
<p><b>保育園や幼稚園の統廃合に関する情報発信について</b></p>	
<p>最近では、幼保交流会などの児童同士の交流も行われていますが、将来的には合併や閉園などがあるのかと、今後の不安を抱えている保護者が多いです。子どもの預け場所が変わるということはライフスタイルに大きく影響します。ぜひ、子どもが生まれる前から安心して将来設計ができるよう、今後の合併や休園、閉園などについての市の方針や進捗を定期的に発信してください。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>今後の保育園及び幼稚園の再編等につきましては、市の方針等が決定した後に、市ホームページや広報等を通じて、可能な限り分かりやすい情報発信に努めてまいります。保護者の皆様が安心して将来設計ができるよう、丁寧な説明と情報提供を心掛けてまいります。</p>	

意見	⑩
<b>子育て支援センターの就園児の利用について</b>	
<p>子育て支援センターは、就園児がいると利用できないことになっていますが、子育て支援のための施設であるのに、親子なら誰でも利用できるわけではないというところに伊東市の子育てのしにくさを感じています。きょうだいがいる家庭もあるため、子育て中の親子が気軽に利用できるよう改善をお願いいたします。</p>	
回 答	
<p>市内7か所の子育て支援センターのうち、中核的な役割を担う子育て支援センターすきっぷでは、日曜日のみ就園児のお子さんもご利用いただける体制を確保しておりますが、限られたスペースの中で安全を確保するため、概ね1日15組の親子の利用を上限として受入れております。それ以外の支援センターでは、保育園に併設の保育室と店舗内の一室でお預かりをしているため、スペースが狭く、安全面を考慮して対象を未就園児としております。</p> <p>このような状況を踏まえ、利用ニーズが高い0歳～2歳のお子さんと動きが活発な就園児のお子さんが事故なく安全に過ごすためのスペースの確保について検討を重ねながら、就園児の利用について徐々に拡大していけるよう取り組んでまいります。</p>	

意 見	⑰
<p><b>保護者同士、子ども同士が交流できるイベントの開催等について</b></p>	
<p>子どもを遊ばせながら、同じ伊東市で子育てを行う保護者同士が交流し、子育てについて語り合い、情報を得られる場となるようなイベントを増やしてほしいです。</p> <p>また、イベントの周知につきましても、伊東市公式LINEの活用など、情報源の集約にご尽力ください。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>現在行っているイベント等のご紹介も含めて回答いたします。</p> <p>始めに、親子のコミュニケーション及び家族同士の交流の場の提供を目的とした、親子参加型講座を年1回程度実施しております。防災工作や料理など、その年ごとの内容を体験していただく講座となっており、対象年齢は、内容によって異なります。一緒に作業を行うことで、親子の関わりだけでなく、親同士、子ども同士の交流が楽しめたというご意見をいただいております。現状、親子で体験活動に参加していただくことを目的とした講座となっておりますが、参加者の皆様のご要望に応じて、情報交換の場を講座の中に取り入れていくこと、また、開催回数を増やすことを検討してまいります。</p> <p>また、保護者の方向けに「子どものやる気をどう育てるか」や、「子どものほめ方、しかり方」などのテーマに沿ってグループワークを行っていただく、「サポ茶～保護者のしゃべり場～」という活動を行っております。子育て経験者や、地域で子どもたちと関わってきた方がグループワークをサポートし、子育てについて語り合い、情報交換できる場となっております。保護者会や家庭教育学級などの</p>	

保護者の方が集まる機会に実施することができますので、ご活用ください。実施の相談・お問合せにつきましては、実施予定日の2か月前を目安に、各保育園を通して生涯学習課までご連絡ください。

このほか、児童館や子育て支援センターにおいて、季節行事や各種教室、絵本の読み聞かせの開催等により、親子のふれあいや地域の仲間等様々な出会いを促進し、保護者同士の情報交換や、子どもにとっては異年齢や他校・園の子どもたちとのふれあいの場となっております。

今後につきましては、児童館が設置されていない地域でのイベント等を増やしていくことや、より参加しやすく、交流が広がるイベントの内容や開催方法について検討してまいりたいと考えております。

なお、イベントの周知につきましては、保護者の皆様に広くお知らせするため、伊東市公式LINEのほか、広報いとうや市ホームページなどの各種媒体を併用し、引き続き、効果的な周知に努めてまいります。

令和7年度市長と伊東市保育園父母の会連合会との懇談会（事前意見及び回答）

意見	⑱
<b>雨天や猛暑でも遊べる子どもの遊び場の整備等について</b>	
<p>私たち父母の会に所属する保護者たちが強く望む項目の一つです。就園児が屋内で遊べる施設がほとんどなく、わざわざ他市の商業施設などへ出かけることが多いというのが現状です。</p> <p>安心して子どもが遊べる、それぞれの年齢に合った施設の整備、又は民間施設への支援をお願いいたします。</p>	
回 答	
<p>民間活力の活用を含め、あらゆる可能性を模索して実現に向けて検討してまいります。</p>	

意見	⑱
<p><b>保育園の施設や設備の整備等について</b></p>	
<p>宇佐美保育園の老朽化による移転が話題となっていますが、富士見保育園・玖須美保育園の園舎の老朽化や、駐車場の不備に不安を抱いているといった意見が大変多く上がりました。富士見保育園においては、砂利の舗装・整備、玖須美保育園においては駐車場の確保・整備など、早急にご検討の程よろしくお願いいたします。</p> <p>また、防犯上の安全対策に不安を感じているといった意見も多く上がりました。扉のオートロックや防犯カメラなどの設備対策をお願いいたします。</p>	
<p>回 答</p>	
<p>富士見保育園の駐車場においては、玖須美財産区と現状回復し返還しなければならない契約内容で賃貸借契約を結んでおり、舗装については玖須美財産区と協議し検討してまいります。</p> <p>玖須美保育園においては、近隣民間駐車場の空き状況等を調査し、駐車場確保に向けて検討してまいります。</p> <p>保育園及び幼稚園の防犯対策については、全園に防犯カメラの設置をしておりますが、さらなる対策として扉のオートロックやフェンスの整備等を検討し、子どもたちの安全確保に努めてまいります。</p>	